

平成 27 年 5 月 26 日 14:40 ~ 16:30 [REDACTED] 氏 自宅面談

出席者 下館河川事務所 錢谷副所長

常総市 石塚建設課長

面談主旨 本省への手紙の内容と主旨の確認

結果概要 1. ソーラーパネルの許可権限が下館河川事務所にあると誤解していた。そのため、下館河川事務所と常総市と建設会社がグルになって、[REDACTED] 氏を孤立させようとしていると考えた。

2. 無堤部なので、ハザードマップの修正（避難所等）をお願いしようと市役所へ出向いたが、「修正はできない・市役所は避難のお知らせをするだけ、いやなら引っ越せばよい」と言われた。ハザードマップの大元は国土交通省なので、市役所とグルになっていると感じた。（これが直接の動機のようである）

3. 最初に一緒に活動していた「[REDACTED] 氏」が最近全然表に出ない。（市役所でアルバイト的な仕事をしているので圧力をかけられたと感じた）

4. [REDACTED] が暴力団と関係しているという話を聞いた。

以上により、本省への手紙となつたようである。

1. ソーラーパネルの許可権限は下館河川事務所にないこと。

2. ハザードマップは今後、市において検討してゆくが時間とお金がかかること。（築堤が優先で有り、要望していること）

3. [REDACTED] は、民間の契約で有り下館河川事務所とは一切関係ないこと。

以上を説明し、誤解であることをご理解頂き、本省への手紙の件については、ご迷惑をかけたと謝罪の言葉を頂いた。

今後は、市役所を通して隨時作業の進捗の情報を提供し、工事図面については、地元説明を行うことで了解を頂いた。